

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 中村 和也

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

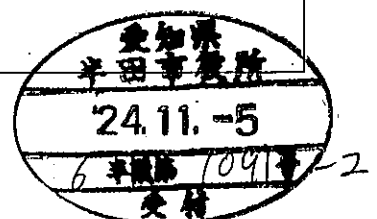
○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

- ・予算の関係でオンライン勉強会としたが、とても分かりやすく画面共有もいただき学び多く良かった。
- ・家庭、学校、地域の関係性が重要である中、学校と家庭の負担が増加している一方で地域コミュニティの弱体化が課題。
- ・従来は「青少年健全育成」という言葉で言われていたが、領域横断的な「子ども・若者支援」が重要になってきた。
- ・ターゲットニーズを包含するユニバーサルアプローチが重要。
- ・居場所となる状況件として、「誰かといても良いし、一人でいても良い」また「何かしてもいいし、何もなくてもいい」場所が必要。
- ・居場所とは物理的な空間だけではなく空気みたいなものであり、ユニバーサルな場所からターゲットを絞った居場所が必要。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・物理的な空間だけではなく、インターネット空間内での居場所の検討が必要。
- ・行政主体で「居場所づくり」を行うと、どうしても「してあげる」「場所を作ってあげる」と支援臭がしてしまう。「居たい」「行きたい」「やってみたい」空間を子ども達が主体（主観）で作ることが重要。
- ・子どもの居場所づくり支援協議会を現存の様々な会議体を統廃合することで、創設を検討いただきたい。その中で、子ども若者支援コーディネーターという役割の外部人材の登用を検討いただきたい。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000 円 振込手数料 660 円	1
		30,660 円を 8 名で按分 ※端数(4 円)は、代表が負担 する。 ※8 名のうち、1 名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660 円 ÷ 8 名	代表(1 名) 3,836 円 代表以外(6 名) 3,832 円

令和6年11月5日

領收書等貼付用紙

議員名 中村 和也

タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

 ちたしん キャッシュサービスご利用明細票											
毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。											
お取扱日	取扱金庫・店番	機番・通番	カード金庫・店番・科目本人・口座番号								
06-10-21	1556021	7-0068									
お取引内容	お取扱内訳(枚数)										
振込	万円券	五千円券	二千円券	千円券	500円	100円	50円	10円	5円	1円	¥30,000*
	3	0	0	0	0	6	0	6	0	0	
手数料	時刻	通帳頁	おつり								
¥660	13:29										
銀行											
普通											
アオヤマ テツハイ様											
ハンダシキカイ ナカムラ カズマ様											

印紙税申告納

何に消費半田

税務署承認済

お客様へ

印紙税申告納
付につき米田
税務署承認済

 **知多信用金庫**
一裏面もご覧ください一



1人 3,832円
代表 7,836円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 小出義一

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

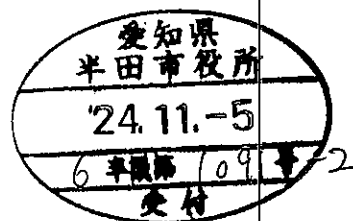
○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

子供の居場所づくりを必要としている社会的背景など、対策を講じるうえで必要となる視点として「多様な人間関係」が減少していることをご指摘いただいた。また、さまざまな視点で継続的な見守りが必要なことを改めて確認した。子どもの居場所づくりの支援をテーマとしているが、厚労省がまとめている「自殺の概況」からも精神的な支えの必要な年代は若年層に限られない。広い視野で本質を捉えた改善策が求められる。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

今回の委員会のテーマは、子どもの居場所づくりとしているが、この延長する年代についても目を向けていただきたい。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000円 振込手数料 660円	1
		30,660円を8名で按分 ※端数(4円)は、代表が負担 する。 ※8名のうち、1名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660円 ÷8名	代表(1名) 3,836円 代表以外(6名) 3,832円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 芳金秀展

○使途項目（○をつける） 調査研究・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目 的 （計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

○結 果 （目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

多くの知見を得ることができた。

- ・中高生の居場所が必要な理由として、家庭、地域、学校という子供を取り巻く環境が変化し、格差が家庭環境によって出やすい時代に変化した結果、支援が必要な中高校生が増えている。
- ・中高生の居場所は支援臭を出さず、自由な居場所として子どもたちの権利を尊重した場所であるべき。例えばユースセンターやオンラインでの居場所、自習室と言うのは大きな理由になる。
- ・課題は、基礎自治体と広域行政のはざまになるケースが多いゆえに、単独市として事業に対するエビデンスが取りづらく、成果も見にくい。

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・中高生のインフラとして、成果を追わない自由なユースセンターのような居場所づくりを進めてください。
- ・青少年問題協議会に高校の有識者も含めてください。
- ・居場所づくりと共にユースワーカーのようなコーディネーターを配置してください。

○その他 （その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実 績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000 円 振込手数料 660 円	1
		30,660 円を 8 名で按分 ※端数(4 円)は、代表が負担 する。 ※8 名のうち、1 名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660 円 ÷8 名	代表(1 名) 3,836 円 代表以外(6 名) 3,832 円

令和6年11月5日

領収書等貼付用紙

議員名 芳金 秀展

タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

たしん キャッシュサービスご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。

お取扱日	取扱金庫・店番	機番・通番	カード金庫—店番—科目本人・口座番号																						
06-10-21	1556021	7-0068																							
お取引内容	お取扱内訳（枚数）																								
振込	<table border="1"> <tr> <th>万円券</th> <th>五千円券</th> <th>二千円券</th> <th>千円券</th> <th>500円</th> <th>100円</th> <th>50円</th> <th>10円</th> <th>5円</th> <th>1円</th> <th></th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>¥30,000*</td> </tr> </table>			万円券	五千円券	二千円券	千円券	500円	100円	50円	10円	5円	1円		3	0	0	0	0	6	0	6	0	0	¥30,000*
万円券	五千円券	二千円券	千円券	500円	100円	50円	10円	5円	1円																
3	0	0	0	0	6	0	6	0	0	¥30,000*															
手数料	時刻	通帳頁	おつり																						
¥660	13:29																								
銀行		*****																							
普通																									
アヤマ テツハイ様																									
ハンタツキカイ ナカウ カスヤ様																									
説明コード																									

印紙税申告納
税務署承認済

知多信用金庫
—裏面もご覧ください—



原本は村録豆に添付

以 3,832円
代表 3,836円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 英華

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

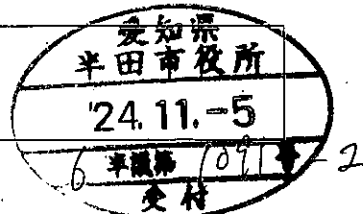
○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

子どもにとって安心安全な居場所が全国的に減少していることと、その子どもの抱える問題自体も多様化、複雑化していることから、単純に「こどもの居場所」といってもさまざまな形態が展開されるなかで、子どもや若者を取り巻く状況やこれまでの変遷などが聞けたり確認できたことはよかった。問題の現状などは市内視察で聞いた話と重複する点もあった。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・中学生以上の若者向けの集えるような場所を開放してはどうか。
W i - F i 環境などが整った自習室の目的にも使える場所で、時間によっては使用されていない場所（会議室など）や施設を開放してみてもどうか。
- ・半田市にユースセンター（中高生の児童センター的な場）があるかどうかかわからないが、駅の近くなど利用しやすい場所にあれば需要があると思われる
- ・中高生の子どもを持つ親へのアプローチとして、コーディネーターがいると良い。
- ・不登校やひきこもりなどの課題を持つ中高生の集えるメタバース（アバターを使った仮想空間）の展開があってはどうか。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実 績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000 円 振込手数料 660 円	1
		30,660 円を 8 名で按分 ※端数(4 円)は、代表が負担 する。 ※8 名のうち、1 名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660 円 ÷ 8 名	代表(1 名) 3,836 円 代表以外(6 名) 3,832 円

令和6年11月5日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 英華

タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

ちたしん キャッシュサービスご利用明細票										
毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。										
お取引日	取扱金庫・店番	機番・通番	カード金庫・店番・科目・日本人・口座番号							
06-10-21	1556021	7-0068								
お取引内容	お取引内訳(枚数)									
振込	万円券	5千円券	2千円券	1千円券	500円	100円	50円	10円	5円	1円
	3	0	0	0	0	6	0	6	0	0
										¥30,000*
手数料	時刻	通帳頁	おつり							
¥660	13:29									
銀行										
普通										
アヤマ テツハイ様										
ハンダシヤカイ ナカム カズマ様										

印紙税申告納

付いた票は

税務署承認済

お客様へ

 **知多信用金庫**
一裏面もご覧ください一



原本は中村議員に添付

人 3,832 円
代表 3,836 円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 麻生七海

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

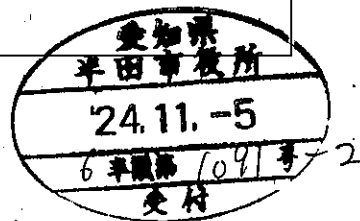
80年代から現在に至るまでのこどもの居場所の変化とその必要性を学ぶことができた。
70年代を経験してきた私としては、サンマと言われる（時間・空間・仲間）がそろっていて居場所に困った思いをした覚えがない。
それが時代とともに家庭、学校、地域の環境の変化が生じ人的交流も希薄化し「生きづらさ」につながっていることが理解できた。以上のことから目的は達成できたと言える。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

あらたなこどもの居場所づくりを行う場合、計画段階から子ども達の声や意見が反映できるよう、はじめから子ども達を取り込んでいっしょになって理想の居場所にしていくことが必要と思われる。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

こどもの居場所を設定する場合、集うための交通手段も考える必要がある。



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000円 振込手数料 660円	1
		30,660円を8名で按分 ※端数(4円)は、代表が負担 する。 ※8名のうち、1名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660円 ÷8名	代表(1名) 3,836円 代表以外(6名) 3,832円

令和6年11月5日

領収書等貼付用紙

議員名 麻生 七海

タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

ちたしん キャッシュサービスご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。

お取扱日

取扱金庫・店番

機番・通番

カード金庫—店番—科目本人・口座番号

06-10-21

1556021

7-0068

お取引内容

お取扱内訳（枚数）

振込

万円券 五千円券 二千円券 千円券 500円 100円 50円 10円 5円 1円

3 0 0 0 0 6 0 6 0 0

¥30,000*

手数料

時刻

通帳頁

おつり

¥660

13:29

銀行

お客様へ

銀行
普通
アヤマ テツアイ様
ハンタシキカイ ナカム カスマ様

説明コード

印紙税申告納
付済み
税務署承認済

 知多信用金庫
—裏面もご覧ください—



原本は中村鉄兵氏に添付

1人 3,832円
代表 3,836円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 幸彦

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

※目的は達成できた

昨今なぜ『居場所』が注目されるかの理由は、時代的な背景が深く関与していた。

・1980年代は、世代を超えた大家族であり兄弟姉妹も多かった。近所の付き合いも当たり前で、子どもを見守る大人が周りにたくさんいた。また公園利用のルールも今ほど厳しい規制がなく、子どもたち自ら居場所を見つけたり作ってきた。

・2000年以降になると、少子化・核家族化が進み、共働きが増えた。近隣との付き合いも希薄になり、親だけがやらなきゃいけないことが増えた。またさまざまな理由から“不登校”というキーワードが普通になり、社会になじめず孤立化する子どもが増えたことが居場所を必要とする原因と言えるだろう。

・『居場所』はハードを指すのではない。当事者にとって心の寄りどころであればそこが最高の居場所。人により居場所の感覚がすべて違うため、大枠で当てはめていくことは非常に難しいと感じた。

・居場所＝空気に例えられる。ある時には気づかない。無いと息苦しい。印象に残る言葉だ。

・義務教育期間は、行政や福祉団体など手厚く支援が届く仕組みがあるが、高校生以上になるとサポートが受けづらい現状である。子どもと大人の境目で一番不安定な年ごろなのに、支援の盲点とも言える。加えて当事者も素直に支援を受け入れない微妙な年齢というのも悩ましいところ。

・居場所を作って「はいどうぞ」ではなく、彼らと一緒に考え作る、という発想に感銘を受けた。

・学校に行きたくない、いる場所がない、人と関わりたくない、今の時代ではこれを理解しなければならないのだろうが、これらは世論がつくってしまった最悪の結果だと私は思う。

学校に丸投げしているのに文句は人一倍言う親がいる。先生は生徒を腫れ者に触るように扱わない

と世間の目が許さない。仕事量の多さで子どもと向き合える時間が激減。本当はもっと子どもたちとの時間を作りたい。教員を目指した多くの人はそのギャップに困惑していると聞く。

●この先さらに複雑化する難問に対して、今後行政はどこまで責任を持って「居場所」の支援をし続けるのが課題である。

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

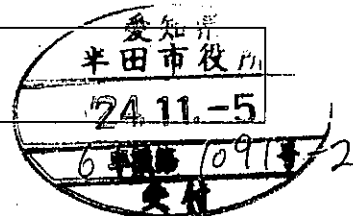
○親が払う「有料の居場所」（学童や塾）に対し、行政が支援する「無料の居場所」 経済的格差を埋めるのも行政の仕事だが、さじ加減を間違えないように。なんでも行政がやってくれるとならないように注意すべき。

○支援はどこまでやってもゴールはない。社会になじめない子どもを増やさないことが先決である。

○人に優しい福祉、人を甘やかす福祉、前者であってほしい。困っているからといってやりすぎは良くない。

○市内公共施設の空きスペースをどんどん活用して「自習空間」を！ 集える場の創出

○その他 （その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000 円 振込手数料 660 円	1
		30,660 円を 8 名で按分 ※端数(4 円)は、代表が負担 する。 ※8 名のうち、1 名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660 円 ÷ 8 名 代表(1 名) 3,836 円 代表以外(6 名) 3,832 円	

令和6年11月5日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 幸彦

タイトル

こどもの居場所づくり支援について(文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

ちたしん キャッシュサービスご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。

お取扱日	取扱金庫・店番	機番・通番	カード金庫一店番一科目本人・口座番号
06-10-21	1556021	7-0068	
お取引内容	お取扱内訳(枚数)		
振込	万円券: 3 五千円券: 0 二千円券: 0 千円券: 0 五百円券: 0 100円: 6 50円: 0 10円: 6 5円: 0 1円: 0	¥30,000*	
手数料	時刻	通帳頁	おつり
¥660	13:29		*****
普通銀行 アヤマ テツパイ様 ハンダシキカイ ナカム カズマ様			
印紙税申告納 税務署承認済			

お客様へ

説明コード

 知多信用金庫
一裏面もご覧ください



原本は中村議員に1添付

1人 3,832円
代表 3,836円

令和6年11月5日

政務活動費成果届出書

届出者 竹内功治

○使途項目（○をつける） 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

文教厚生委員会において、令和6年度の閉会中の調査テーマとして定め、調査研究を行うこととした「こどもの居場所づくり支援体制について」知見を得るために、文教大学人間科学部 准教授 青山鉄兵氏を講師として、勉強会を実施する。勉強会で得た知見を半田市におけるこどもの居場所づくりの研究に役立てたいとするもの。

○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

目的は達成出来た。

- ・子ども、若者の環境や支援の変化について、理解することが出来た。
- ・居場所になるための条件を深く知ることが出来た。
- ・居場所の在り方や多様性について、考えることが出来た。
- ・思春期以降の若者を支える「ユースワーク」について、学ぶことが出来た。
- ・自治体における、市内の高校生の居場所づくりについて、考えることが出来た。
- ・オンラインにおける居場所づくりについて、深く学ぶことが出来た。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・中高校生の居場所づくりは、単純に施設があればいいものではない。
- ・オンライン環境による中高校生の居場所づくりを考える必要がある。
- ・様々なパターンとオンラインを含めた、中高校生の居場所づくりを考える必要がある。
- ・市内に在住だけでなく、市内の学校に通う高校生も支援の対象にする。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額(円)	領収書 No.
10/18	13:30～ 15:30	こどもの居場所づくり支援 について(文教大学人間科 学部准教授 青山鉄兵氏)に 講義をいただくもの	講師謝礼 30,000 円 振込手数料 660 円	1
		30,660 円を 8 名で按分 ※端数(4 円)は、代表が負担 する。 ※8 名のうち、1 名は、自己負 担により参加のため、政務 活動費は交付しない。	30,660 円 ÷8 名	代表(1 名) 3,836 円 代表以外(6 名) 3,832 円

領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功治

タイトル

こどもの居場所づくり支援について（文教大学人間科学部准教授 青山鉄兵氏）

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

ちたしん キャッシュサービスご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。ただいまのご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞご確認ください。

お取扱日	取扱金庫・店番	機番・通番	カード金庫・店番・科目本人・口座番号
06-10-21	1556021	7-0068	

お取引内容	お取扱内訳（枚数）										
振込	万円券	五千円券	二千円券	千円券	500円	100円	50円	10円	5円	1円	¥30,000*
	3	0	0	0	0	6	0	6	0	0	

手数料	時刻	通帳頁	おつり	
¥660	13:29			*****

銀行
普通
アヤマ テツハイ様
ハンタシキカイ ナカウ カスヤ様

説明コード

印紙税申告納
税務署承認済

 知多信用金庫
—裏面もご覧ください—



原本は中村鉄兵に交付

1人 3,832円
代表 3,836円